

旧安房南高の木造校舎を愛する会 メンバー20人草刈りに汗 舞台の裕次郎映画5月に上映も

館山市の旧安房南高木



敷地内の草刈りを行う愛する会のメンバー＝館山

造校舎の保存活用を目標とする市民グループ「安房高等女学校木造校舎を愛する会」がこのほど、敷地内の草刈りや掃除を行った。メンバーら約20人が繰り出して作業し、終了後は今後の活動などについて意見交換した。

木造の階建ての同校舎は、関東大震災後の昭和5年に建てられた。日本古来の木造建築と西洋建築を融合させたつくりが特徴で、当時の最新技術で耐震性にも優れている。

平成7年に県文化財に指定され、そのスタイルジックな姿から映画やドラマなどのロケにも活用されている。

安房高に統合された現在は、年に一度の見学会が開かれている程度で、同会がボランティアで清掃奉仕。春の曇りで周囲の雑草も生い茂ってきたことから、この日の草刈りとなった。

繰り出した会員らが手分けして1時間ほど草刈り。終わるとお茶を飲みながら、意見交換した。同校が舞台となっている石原裕次郎主演の「嵐の中を突っ走れ」の上映会を5月20日に開催することなどを確認した。